

	プログラム	内容	質問	回答(案)
1	BIM部会・建築BIM 合同会議の活動概要	活動の主旨、ほか	BIM元年から10年以上たちますが、今回の提案は、なんと いうタイトルになるのでしょうか？	"建築BIMの推進"になると思います。2009年のBIM元年は、 どちらかと言えば設計者主導の設計BIMに主眼がおかれてい ました。また2014年は施工者主導の施工BIM元年と言えま す。今回は設計部門と施工部門が協業する環境がようやく 整ったということで、建築BIMのスタートと考えることがで きます。
2	BIM部会・建築BIM 合同会議の活動概要	活動の主旨、ほか	BIM部会には建築設計委員会ー構造設計部会は入っていない のでしょうか？ 日建連で構造設計のBIM化としてなにか活動は行っているの でしょうか？	BIM部会には構造設計部会は参加していません。BIM部会 は施工部門のメンバーが中心ですので、設計段階のBIMを考 える設計BIM専門部会が建築設計委員会の傘下に設置されま した。ここでは意匠・構造・設備の設計BIMのあり方を検討 することになっており、建築BIM合同会議では設計と施工を 横串を刺してBIMを検討する組織としています。なお構造設 計のBIMに関する検討はこれからになります。
3	BIM部会・建築BIM 合同会議の活動概要	活動の主旨、ほか	ワークフローは、3月に出了た、国土交通省のガイドライン に沿った内容となっているのでしょうか？	沿った内容にしています。今回のワークフローは国交省のガ イドラインに準拠し、設計施工一貫方式の場合を抜き出して 解説した内容とご理解いただくと幸いです。
4	BIM部会・建築BIM 合同会議の活動概要	活動の主旨、ほか	建築BIMと路線を変更するのであれば、設計事務所も参画が 必要ではないでしょうか。現状ゼネコンだけなのでどうして も施工BIMの位置づけになると思います。	建設会社が加盟する日建連の取組みで設計事務所の参画はあ りません。しかし、建設会社設計部門の参画はありますの で、施工BIMだけではなく設計BIMも含めた活動としていき ます。
5	建築BIM合同会議の 活動報告	日建連BIMロード マップの解説	設計で作成したモデルを施工で使うことを目指しているの でしょうか？ その場合、同じツールを使うこととなるのでしょうか？	設計部門が作成したモデルを生産部門で活用することを目指 しています。同じツールを使うことが必須ではありません が、その方が効率的と考えます。
6	施工BIM専門部会の 取組み	各WGの活動概要	施工経験がないBIMオペレーター(施工BIM)の育成について、 簡単に教えていただけますでしょうか？	2次元の施工図でも同じですが、ツール操作については講習や マニュアルで学べる一方で、納まりに関する知識や応用する 力は現場で現物を見て学ぶことは必要と考えます。ただし、 3Dで形状を作成するBIMでは、オペレーターの現物の理解 と、指導するチーフがオペレーターと共通の認識を持てる という点で2Dよりも優れており、育成についてもメリットがあ ると考えられます。
7	仮設ライブラリWG の活動報告	仮設オブジェクトの 標準化案の解説	足場のライブラリを公開する予定はないのでしょうか？	現状はありません。複数のメーカー・リース会社がオブジェ クトを整備し始めているので、会社リストやHPリンクを公開 しています。日建連としては、足場に関しては、専門工事会 社との連携方法やオブジェクトの活用方法の方が重要である と考えます。
8	仮設ライブラリWG の活動報告	仮設オブジェクトの 標準化案の解説	ダウンロードできる機種以外のライブラリ(クレーンオブジェ クト)を利用したい時は、どうすれば良いのでしょうか？	日建連としては、基本はメーカーさんが自主的に整備して いってもらう方向を想定しており、そのために共通の標準仕 様を作成しました。今回紹介したクレーンメーカーのHPへア クセスしてもらえれば、随時オブジェクトが増えていくと思 います。日建連としても、リンク集を整備していきます。
9	BIMモデル承認WG の活動報告	「BIMモデル承認」 の定義と実現への課 題	“BIMモデル承認”の対象案件は、設計施工一貫プロジェクト ですか？	特に設計施工一貫プロジェクトに限定しているわけではありません。理想的には自社設計・他社設計の別無く今回提案し た方法論が適用できるようになることを目指しています。そ のためには比較照合先となる設計BIMモデルが、自社設計で も他社設計でも同じ方法論が適用できるレベルの標準化・規 格化が為される必要があると考えています。
10	BIMモデル承認WG の活動報告	「BIMモデル承認」 の定義と実現への課 題	“BIMモデル承認”の実現に向け、あらゆるものの標準化とあ りますが、プラットフォーム、データ形式は限定しますか？	機械的な比較照合を行うという観点から標準化されているこ との重要性が高いと考えています。特に、どのような情報が モデル・建築データに入っているか、その情報を抽出する フォーマット、この2つは標準化の必要性が高いと考えてい ます。抽出した情報の比較照合行為自体は比較的単純なた め、比較照合するプラットフォームを限定する必要は考えて いません。ただし比較照合結果の正しさの担保のため、これ らプラットフォームやシステムは業界でオーソライズされる 必要があると考えます。

■ 2022年度日建連BIMセミナー_Q&A Report

	プログラム	内容	質問	回答(案)
11	BIMモデル承認WGの活動報告	「BIMモデル承認」の定義と実現への課題	BIMの在り方として将来的に設計・施工・維持管理を通して活用していくと先程のセッションでありました。 BIMモデルの承認のセッションでは正となるモデルありきでの承認方法についてお話されていました。 一気通貫でBIMを活用するための承認方法はどのようにお考えでしょうか？	将来的には設計情報を引き継いだ生産モデルにおいて、設計段階に入力された情報が変更されないことをリアルタイムで監視するという機能が実装されることは予想されますが、現状はまだそのレベルに至っておらず、このBIMモデル承認の考え方も、従来の建築行為のワークフローの手段をデジタルに置き換える、というものとしています。そのため、比較照合先の情報は、見積時・契約時・設計変更時…というプロジェクトにおける参照されるべき適切な段階において保存され、それに対する比較照合の結果承認が為される、という必要があると考えています。
12	BIMモデル活用WGの活動報告	『施工BIMの活用ガイド』の解説	目標設定シートを使ってみたいのですが、フォーマットなどの電子データは公開されていないですか？	現状での公開予定はありません。
13	BIMモデル活用WGの活動報告	『施工BIMの活用ガイド』の解説	詳細モデルは、誰が作成するのが良いですか？鉄筋や仕上げ詳細は専門工事がBIM未対応の場合はどうするのが良いのでしょうか？	詳細モデルの作成は、各社でのBIMモデル作成方針に則って作成することが基本となります。専門工事がBIM未対応の場合、モデルの必要性を協議の上、外部モデリング会社に依頼することもあります。
14	BIM啓発専門部会の活動報告	「BIM活用の実情把握に関するアンケート」の実施報告	BIMマネージャーは、各作業所に配置すべきでしょうか？専門のスキルが求められると思いますので、複数の作業所を統括する形で専任とした方が良いのではないのでしょうか？	今回のアンケート結果からもBIMマネージャーは複数の作業所を統括して配置しているという回答が多く、それが妥当かと思えます。ただし、BIMマネージャーを広い意味で捉えて、高度なスキルを要求するのではなく、プロジェクトごとにBIMによるマネジメントを実施する担当者を定めることも、プロジェクトにおけるBIM活用の推進に有効と考えます。
15	BIM啓発専門部会の活動報告	「BIM活用の実情把握に関するアンケート」の実施報告	社内の活用状況を定量的に把握するためには、各社どのように把握されているのか分かる範囲で教えてください。	今回のアンケートにおける定量的な把握方法の一例として、BIM実行計画書の主要事項である活用メニューの実施状況をモニタリング集約しています。
16	BIM啓発専門部会の活動報告	「BIM活用の実情把握に関するアンケート」の実施報告	BIM標準化を進めるにあたり、どのソフト（建築・設備）を考えているのでしょうか？	日建連として推奨するソフトを特定していません。重ね合わせソフトによる整合調整など、標準となるBIMの運用を提示することが重要と考えており、効果的なBIMワークフローのパターンを2022年度末発行予定の事例集に盛り込んでいきます。
17	建築BIM合同会議、建築BIM推進会議対応WGの活動報告	設計施工一貫方式におけるBIMワークフローの解説	業務区分（ステージ）の考え方について、国交省ガイドラインとの違いがあれば教えてください。	ステージの呼び方は同じです。一方で設計段階におけるステージ毎の成果物の考え方が設計施工一貫方式の場合を想定していますので異なります。詳細は「提言01 作業区分の考え方」を参照ください。合わせてセミナーで使用した解説資料のP12を参照ください。日建連建築BIMのワークフローにおけるステージの考え方は以下の通りです。 S1: 発注者はEIRを提示（ゼネコンの選定 超概算） S2: 一般図作成（基本設計で概算金額合意） S3: 確認申請図書の作成、専門工事業者からの情報提供、部分的に施工BIMスタート S4: 設計部門 → 設計図書の整理、施工部門との調整、施工部門 → 精算見積（工事費確定）、施工準備、生産設計部門 → 施工図準備
18	建築BIM合同会議、建築BIM推進会議対応WGの活動報告	設計施工一貫方式におけるBIMワークフローの解説	維持管理・運営BIMは、施工した建物と全く同じモデルを作成しないといけないのでしょうか？	作成の程度はEIRに準拠するものと認識しています。つまり、発注者（施設所有者）側が維持管理・運営段階でどのような情報を必要とするかによりモデルの状況が異なると言えます。そのため、竣工した建物と同等なBIMモデルが必要であれば、それなりの費用負担、使い方を示す必要があります。
19	建築BIM合同会議、建築BIM推進会議対応WGの活動報告	設計施工一貫方式におけるBIMワークフローの解説	新築工事におけるBIMの活用は、なかなか難しいところがあります。 既存建物のBIMデータ化の推進は、どのように考えられていますか？	日建連としても、改修工事でのBIMの活用手法を、今後の検討課題の一つとして、ロードマップにも位置付けています。